

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	有限会社マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

内容
<p>【ごあいさつ・文化の違い】 スペインについての簡単なQ & Aの実施。映像を用いたスペイン文化・舞踊の紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スペインの街並み / 文化紹介 ・ スペイン人から見た日本とは？ / スペイン舞踊・種類の紹介 <p>【フラメンコの解説】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「フラメンコ」とは何か？踊り・音楽・歌？（音楽試聴&クイズ方式） ・ 「フラメンコの起源と歴史」をスライドを中心に解説 <ul style="list-style-type: none"> ➢ フラメンコの曲は、リズムとメロディーにより区別され、曲の形式や意味がある等。 ➢ フラメンコはどのようにして生まれたのか？（最重要ポイント） ・ フラメンコの歌、ギター、踊りの実演 <p>【体験コーナー】 * 全て解説と実演有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パルマ（手拍子）/表・裏拍、アクセントの取り方の体験（フラメンコ特有） ・ サパテアード（足打ち）/足打ちのやり方4種類を実際に体験。代表生徒は専用シューズを履き舞台上で、他の生徒も全員立って実際に体験 ・ ルンバ（足打ちダンス）/足打ち、手拍子、回転、ステップ等による簡単な振付に挑戦 ・ カスタネット/音楽で使うカスタネットと踊り用の違いを説明。カスタネットを打ちながら、足打ち&ターン&ポーズでフィニッシュを体験 ・ カホン/四角い木製のリズム楽器を実施に体験 ・ ハレオ/フラメンコにはハレオという掛け声があり、どういうタイミングでどのように掛け声をかけたらよいか、一緒に声出しを体験（*コロナ禍、説明のみ）

タイムスケジュール（標準）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校到着→体育館にて準備 ・ 1コマ目：映像・スライドを用いたスペイン文化・舞踊の紹介。うた・ギター・踊りの実演。 ・ 2コマ目：体験(グループに分かれ、全員が全種目を体験する) ・ 本公演に参加する代表児童の振付・練習 ・ 体育館片付け→担当の先生との本公演に向けた打合わせ

派遣者数
6名（主指導者：1名、演奏家：1名、補助指導者（舞踊家、舞台監督）：4名）

学校における事前指導
特になし

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	有限会社マジスティック
公演団体名	平富恵スペイン舞踊団

演目
<p>【スペイン名曲集】</p> <p>1. <u>マラゲーニャ</u>: 作曲家レクオーナの名曲。スペイン各地をテーマにした組曲「アンダルシア」の中で最も愛される曲。</p> <p>2. <u>サパテアード</u>: サラサーテの名作。題名が示すようにサパテアード(靴音)のみで、リズムを創り出し、ダイナミックに盛り上げる。</p> <p>3. <u>劇場ってどんなところ?</u> ・スタッフの仕事 ・「スペイン舞踊」と「フラメンコ」の違い ・カスタネット解説・実演</p> <p>4. <u>アラゴネサ</u>: 作曲家ビゼーの「カルメン」より。情熱的な女性「カルメン」組曲として親しまれている名曲。</p> <p>※4. 学校のご希望によるによる選択制 火祭りの踊り (作曲:ファリャ) ～「恋は魔術師」より 物語性のあるスペインを代表する作品を舞踊団と一緒に児童生徒の皆様が共演</p> <p>5. <u>フラメンコの解説&体験コーナー</u> フラメンコの成立の解説。ギタリスト、歌手、打楽器奏者のそれぞれの実演。児童生徒さんは実際に手拍子パルマ、足打ちダンスを体験。</p> <p>6. <u>ムヘレス</u>: スペインの大作曲家ファリャの名曲「はかなき人生」にのせて、ムヘレス(女性たち)の様々な生き方を表した作品。</p> <p>7. <u>タクトウタ</u>: フラメンコ発祥の起源と言われるインドのタブラ音楽にのせ“人の矛盾”を表す。</p> <p>8. <u>デリリオス・イベリコ</u>: 静寂の中から、突如爆音が響き、カスタネットを持った踊り手たちが、次々スペイン舞踊を颯爽と踊る。続いて、曲はパルマに導かれ、徐々にフラメンコのリズムに変化する。</p> <p>【フラメンコの粋と情熱】</p> <p>9. <u>リトモ・イ・コンパス</u>: フラメンコ最重要曲であるシギリージャ。カホン(リズム楽器)とカスタネットの絶妙な掛け合いに注目!</p> <p>10. <u>ファンタシア</u>: 扇子で優雅にグアヒーラを舞う女性たち。突然表れたいたずら青年が魔法をかけるとたちまち皆の動きは止まる。しかし、面白がっていた魔法使いの最後の運命は…。 “恋” “いたずら” “逆転劇” などファンタジックな物語を想像させる人気の演出。</p> <p>11. <u>ヴェラ・デ・サンタ・アナ(聖アナ教会のろうそく)</u>: 帽子で踊る粋な曲ガロティン。70年代アンダルシアのエッセンスの上に、現代の感覚をちりばめ、様々な次代の融合を探った意欲作。</p> <p>12. <u>アレグリアス</u>: スペイン南端カディス発祥のカンテ・アレグレ(明るい歌)を代表する曲。港町の美しい情景を彷彿させるフラメンコならではの明るく楽しい曲。</p> <p>13. <u>わくわく・de・フィエスタ</u>: 児童・生徒代表の晴れ舞台。「ルンバ」の名曲でパフォーマンスを披露。その後、生の演奏にて、会場全員が立って踊り、楽しくフィナーレを飾る。</p>

派遣者数

30名（出演者：12名、スタッフ：18名）

タイムスケジュール（標準）

前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間(3時間程度)

到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
8時	8時～11時	14時～15時45分	15分	16時～18時	18時半

→仕込み終了後から公演まではリハーサルを行う。

※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度。

実施校への協力依頼人員

代表の児童・生徒：約15名（カホン：7名、ダンス：8～10名程度）

演目解説**【第1部】**

●始まりは、暗闇。

幻想的な照明と共に、薄明かりの中に衣装が浮かび上がる。クラシックを代表する名曲とともに、場内を一気に舞台の世界へと引き込みます。スペインのクラシック名曲を繋いだ舞踊団の代表作品集です。

●導入は、壮大なスペイン舞踊を伝統的なドレスに、ショールとカスタネットの小物を用い披露します。以降、様々な小物や衣装で、バラエティに富んだスペイン舞踊の主要スタイルを網羅し、鑑賞できるように上演します。

●途中に、フラメンコについての解説と体験コーナーをはさみます。実際にパルマ（手拍子）とハレオ（かけ声「Ole!」の発声）、足打ちやダンスの体験して頂き、音楽コーナーでは、プロのミュージシャンがわかりやすく実演&解説をします。

【第2部】

●後半はスペイン舞踊を古典的からモダンなものに移る流れで上演します。全体を通し、スペイン舞踊の過去から現在への時間的・形式的な変遷を感じられるプログラムとなっています。

●フラメンコにおいて、特に重要なナンバーを選曲し、ギター・歌・舞踊が持つ独特の迫力と醍醐味を実際に味わって頂きます。各曲には、それぞれテーマを持たせ「夢」「絆」「愛」「人生」など、低学年でも決して飽きることなく、また「人間模様」をテーマにした大人向け同様の曲も配置し、物語を想像する力を養います。児童・生徒さんの感性を刺激する演目を上演。

●最後は、代表生徒の舞台パフォーマンスと、生演奏をバックに、全員でのアンコールダンスを体験し、「みる・きく・やってみる」と五感をフル活動させる内容です。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

踊りだけではなく、ギター・うた・カホンなどの音楽や、スペイン文化・スペイン語等の国際教養分野、劇場舞台にまつわる衣装・舞台美術・照明等のデザイン・音響の分野など、様々な視点から公演を楽しむ仕掛けを用意。

代表児童・生徒さんには、公演の締め括りとして、実際に楽器演奏とフラメンコの踊りを披露してもらう。衣裳や髪飾りを身に付け、生演奏をバックに、ライトを浴び舞台上で表現をします。アンコールには、観客席の全生徒も一緒になり、プロの演奏にのせ、ダンスを踊り、盛り上がります。

●全員参加のフラメンコ体験

前半で、パルマ（手拍子）、ハレオ（かけ声）、足打ち、ダンスに全員参加していただきます。

実際に体を動かすことで、表現する喜びを感じます。またその後のフラメンコ鑑賞では、それぞれが興味を持ったり、難しいと感じた項目に着眼して鑑賞するようになり、飽きずに集中して公演を楽しむことができるようになります。

後半の「わくわく・de・フィエスタ」で代表児童が発表後、前半で体験したダンスを活かし、全員で、生演奏をバックに足打ち&手拍子ダンスでフィナーレを飾ります。

●代表児童によるダンス・カホンの披露

代表児童 15名ほどを選出し、本公演のラストに生演奏に合わせてダンスやカホン演奏を発表していただきます。

また、1部の「火祭りの踊り」では、舞踊団との共演が可能です。（児童・生徒の人数などを考慮し、学校のご希望により選択可能です。）

フラメンコの衣装や小物を身に着け、舞台上でライトを浴びて発表する経験、感じた達成感は一生涯ものです。

代表にチャレンジできなかった子供たちにも、「次はぜひ立候補して挑戦したい」などの積極性をもたらせております。

アンコールには、観客席の全生徒も一緒になり、プロの演奏にのせ、ダンスを踊り、盛り上がります。

児童生徒とのふれあい

- 本公演では、パルマ（手拍子）、ハレオ（かけ声*コロナ禍は説明のみ）、足打ち、足打ちダンスに全員参加。
- これを活かし後半最後の演目「わくわく・de・フィエスタ」で、代表児童・生徒さんが舞台上で、カホンとダンスのパフォーマンスを披露する。
- その後、全児童・生徒の皆さんも参加し、生演奏を背景に足打ち&手拍子ダンスでフィナーレを飾る。
- 本公演後にいただいた質問・感想文等にはフィードバックを実施し、振り返り学習を充実させております。